

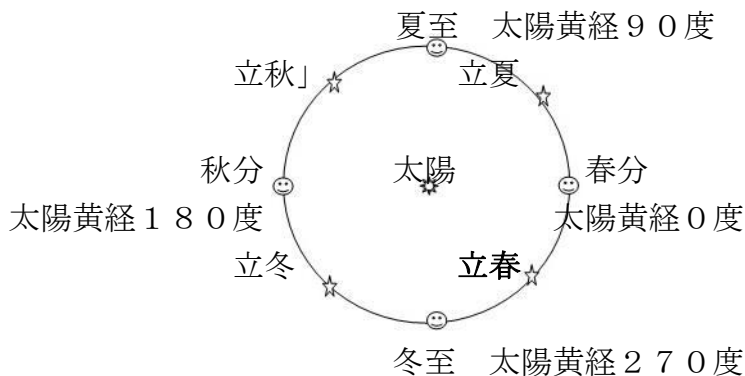
# 柵の木からの手紙

2021年 如月 2月号

- 2日： 節分
- 3日： 立春
- 11日： 建国記念日
- 12日： 新月 : 旧正月 1月1日
- 18日： 雨水
- 27日： 満月 : 旧 1月16日

## 季節を感じる目安 「二十四節気」

太陽の動きから算出された古代中国の暦。1年を4つの季節に分け、更にそれぞれの春夏秋冬の季節を6個の節目



に分け、一年を24の節気で表しています。

毎年同じ時期、15日毎に節気が巡って来て季節を知る目安となっています。ただし、中国で作られたものなので、地域性を自分なりに加味するとより一層季節感、自然との一体感が深まるでしょう。会報の上部の簡易暦の太字「立春」「雨水」は二十四節気の呼び名の一部です。

例えば、**3日立春**、**18日雨水**ということは、3日から17日までが「立春」、18日から次の節気の前日までが「雨水」です。

**この冬は**、昨年のように雪が少ないですが根雪は12月26日でした。それでも寒さが厳しい為、少ない雪が無くなる事も無く、秋播き小麦がむき出しになっている事はありません。

**何気ない日々の暮らし**の気付かない所で季節が廻り、地球の中緯度にいる私たちは時速1400km程で移動。更に地球の公転で太陽の周りを1秒間に30kmの速度で移動している。更には、太陽系自体が秒速217kmで銀河系の中心を回っている。

1月中旬、日頃現れる事の無い地の神が、くっきりと白字で浮かび上がりました。

